



寝屋川流域について

寝屋川流域の特徴について

流域の概要

寝屋川流域は、大阪市東部を含む12市（大阪市, 守口市, 枚方市, 八尾市, 寝屋川市, 大東市, 柏原市, 門真市, 藤井寺市, 東大阪市, 四條畷市, 交野市）にまたがっており、その面積は267.6 km²（東西約14km, 南北約19km）で、東側を生駒山地、西側を大阪城から南に伸びる上町台地で区切られ、北側と南側は淀川と大和川に囲まれています。



寝屋川水系位置図



寝屋川は、生駒山地を源に各支川を合せ京橋口を経て旧淀川（大川）に合流する一級河川です。

流域面積：267.6km²（大阪府面積の約1/7）
流域の人口：約273万人（大阪府人口の約1/3）
流域の資産：約51兆円

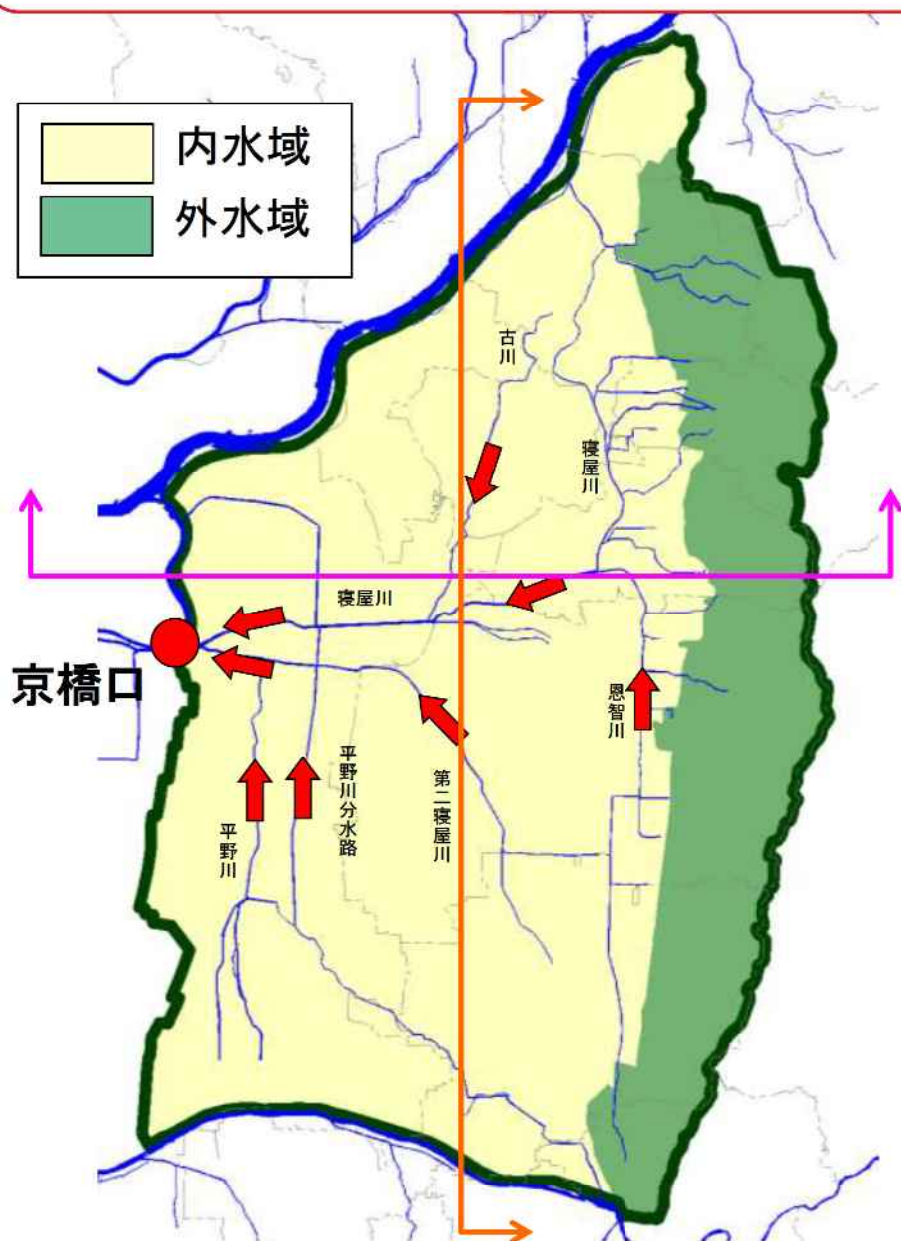
（H17年国勢調査およびH18年事業所・企業統計調査に基づく）



寝屋川水系流域図

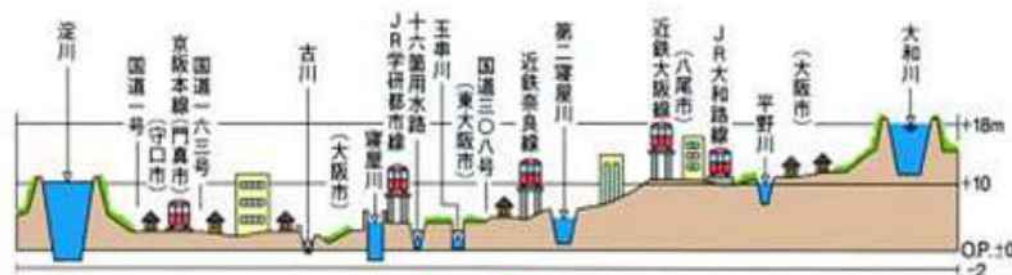
寝屋川流域の特徴について

- 寝屋川流域は、地形的な特性から水はけが悪く、流域面積の約3／4が雨水排水をポンプなどの施設に頼らなければならない川より低い地域(内水域)です。
- 寝屋川流域では、河川によって集められた雨水の出口は京橋口の一箇所しかありません。



地盤高断面図

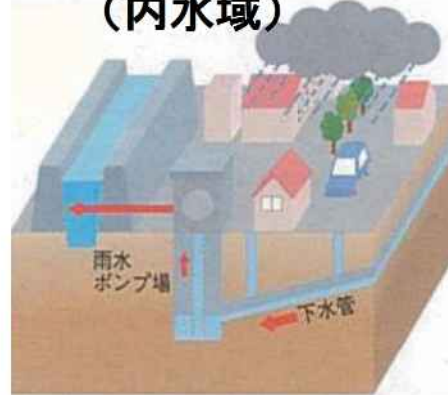
南北方向



東西方向



川より低い地域
(内水域)



寝屋川流域は、川より低い地域であることに加え、都市化により雨が地面にしみ込みにくいことから、浸水が発生し易い地域です。

